

## ユーイック 構造計算適合性判定の特徴

～受付から適合判定通知書交付まで 短期間(※平均8.4日)で  
適切な審査 を心がけています(※実審査日数は平均4.2日)～

### 1. 事前相談に対応します。

当機関では、構造計算適合性判定に判断を委ねる内容について、事前相談の対応を行います。

「構造計算適合性判定等の円滑化(国住指第4939号)」への取組みとして事前相談は、きめ細かな対応を心がけて実施しています。また、審査の円滑化の観点から、事前相談と本申請で担当する判定員は原則、同一の者としています。(国住指第4939号第2)

### 2. 「追加説明書回答フォーマット」を送付します。

当機関から「適合するかどうかを決定することができない理由」を入力した「追加説明書回答フォーマット」を送付します。

「適合するかどうかを決定することができない理由」が入力されているので、追加説明書作成の時間短縮になります。

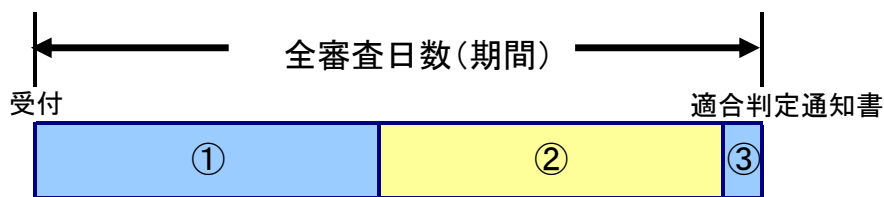
### 3. ヒアリング(面談)を行いません。

「適合するかどうかを決定することができない旨の通知書」の質問内容について直接、判定員とヒアリング(面談)を行うことができます。電話、メールによる問い合わせ対応も行なっています。

追加説明書についても原案をメール等で送付していただき、判定員とヒアリングを行なうことができます。

(2回目の「適合するかどうかを決定することができない旨の通知書」を必要としないように心がけています。)

### 4. 迅速かつ適切な構造計算適合性判定を心がけています。



- ① 判定受付から「適合するかどうか決定できない旨通知書」発行まで
- ② 設計者による補正・追加説明書作成期間
- ③ 補正・追加説明書受付から適合判定通知書発行まで

①+③	ユーイック 判定員の審査・判定期間	※平均 4.2日
②	申請者・設計者の補正・追加説明書作成期間	※平均 4.2日
①+②+③	(全審査日数): 受付から適合判定通知書交付まで	※平均 8.4日

※ 平成27年4月～平成27年6月の交付実績より  
(計画変更申請含まず)